

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子供の育成」



遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～なかよく 明るく つよく正しく～

「学ぶ時間」と「メディアとの付き合い方」

全国学力・学習状況調査の結果から、家庭での学習時間と国語・算数の正答率との間に、興味深い傾向が見られました。真庭市の結果では、家庭学習を「全くしない」児童の国語の正答率は 48.2%、算数は 47.4%でした。それに対して、「3時間以上」学習している児童では、国語 66.5%、算数 55.1%となっています。家庭学習の時間が長い児童ほど、学習内容を振り返ったり、知識や技能を繰り返し練習したりする機会が増え、学力の定着につながっていることがうかがえます。

もちろん、「勉強時間が長ければ長いほどよい」ということではありません。大切なのは、毎日少しずつでも家庭で学習する習慣を身に付けることです。学校で学んだことを家庭でもう一度振り返ることで、「分かった」「できた」という実感が積み重なり、確かな学力につながっていきます。

一方、SNSや動画の視聴時間については、4時間以上視聴している児童の正答率、国語 55.2%、算数 51.3%に対し、30分～1時間では国語 67.2%、算数 59.0%となっています。長時間の SNS や動画視聴が、家庭学習時間に影響を及ぼしている可能性は高いです。また、長時間使用による睡眠不足が学校での学習に影響を及ぼしている可能性も考えられます。

各家庭で、学習時間や就寝時刻とあわせて、SNSや動画、ゲームなどの利用時間について話し合い、ルールを決めていただければと思います。「学ぶ時間を確保すること」と「メディアを上手にコントロールすること」。この二つを大切にしながら、子供たちの健やかな成長と確かな学力を、学校と家庭が一緒になって支えていきましょう。

家庭学習時間	国語正答率	算数正答率
3時間以上	66.5	55.1
2～3時間	63.9	56.7
1～2時間	63.9	55.3
30分～1時間	59.2	53.9
0分～30分	56.2	55.4
全くしない	48.2	47.4

家庭学習時間と正答率（真庭市）

SNS・動画視聴時間	国語正答率	算数正答率
4時間以上	55.2	51.3
3～4時間	59.4	52.5
2～3時間	62.4	58.0
1～2時間	63.7	54.4
30分～1時間	67.2	59.0
0分～30分	64.1	50.6
持っていない	68.5	61.4

SNS・動画視聴時間と正答率（真庭市）

未来へつなぐ「旧遷喬小学校」と子供たちの願い

10月12日(月)に「旧遷喬小学校」で開催されるイベントに、遷喬小学校の児童が協力します。

「旧遷喬小学校」は、長い歴史の中で地域の人々に大切に守られてきた、「未来に残したい真庭の文化遺産」です。そこには、この地域で学んできた子供たちや地域の方々の思い出がたくさん詰まっています。

今回、子供たちは一人一枚、「未来の自分はこうなりたい」または「未来の久世はこうなってほしい」というテーマで、未来への願いをメッセージカードに書きました。

「自然が豊かな久世であってほしい」「都会になってほしい」「平和な町であってほしい」「みんなが楽しいと思える町であってほしい」など、一人一人が思い描く未来はさまざまです。子供たちの言葉からは、自分自身の将来への夢だけでなく、ふるさと久世への願いや愛着も感じることができました。

「旧遷喬小学校」が未来に残していきたい大切な文化遺産であるように、子供たちは未来を創る大切な財産です。今回の取組は、子供たちが自分の夢や地域の未来について考える「夢育」の機会であるとともに、ふるさと久世を大切に思う心を育む取組となりました。

子供たちが書いたメッセージカードは、10月12日(月)に旧遷喬小学校に掲示される予定です。



児童の様子



体育館改修工事のため、運動場と多目的ホール、各学年フロアを使って、天候に合わせて運動会練習を進めています。

通常の授業は、きちんと気持ちを切り替えて、がんばることがができる子供たちです。